

横浜緑リーグ馬場会長杯争奪少年野球大会競技運営規則

横浜緑リトルシニア野球協会

- 1 試合の運営に関する統制は、横浜緑リトルシニア野球協会にて行います。
- 2 ファールボウルは、直ちにベンチに近いチームが取りに行くようお願い致します。
- 3 ベンチは、組み合わせの若い番号を一塁側と致します。
- 4 試合中はゲームに直接関係ない応援の父兄はベンチに入る事ができません。
- 5 定められた者以外はベンチの白線よりみだりに出てはいけません。
- 6 試合開始予定時刻前でも、前の試合が終了後20分経過したら開始致します。
- 7 (1) 試合は**1時間25分**の制限時間をもって、7回戦以内の新しいイニングには入りません。
(2) 規定時間を過ぎ同点の場合は以下のタイブレーク方式をとります。

※打順1番の選手が3塁走者となり

※打順2番の選手が2塁走者となり

※打順3番の選手が1塁走者とし、1アウトから

※打順4番の選手から攻撃を行います。

この特別ルールに入る時点の守備位置、打順は試合終了まで変更はできず、また選手の交代もできません。

但し、選手が負傷等で出場出来ないと審判が判断した場合に限り、控えの選手との交代を認めます。

尚、当該ルールによる試合は時間に関係なく決着がつくまで行います。

- (3) 1時間25分の制限時間内において7回戦が終了し同点で、且つ、時間が残っている場合は、8回戦より上記の特別ルールを行います。

- 8 点差による**コールドゲームは、4回10点差、5回以降は7点差**とします。
- 9 スポーツマンシップにのっとり相手チームを誹謗したり、やじったりしてはいけません。
- 10 試合前のシートノックは後攻側のチームから5分間ずつとします。
- 11 選手の交代は、必ず当日登録の監督が球審に申し出ることとします。
- 12 出場選手の中には**必ず小学6年生を3人以上**含むこととします。
- 13 抗議は監督と主将・当該選手のみとしますが、**判定に関する抗議は一切認めません。**
- 14 使用球は、**J号球**とします。
- 15 選手の危険予防及び健康管理についてはチームにおいて十分に留意して下さい。
事故に対する責任は当協会として関知致しません。
- 16 投手の投球については変化球を投げないよう指導徹底します。
- 17 当大会の**決勝戦は点差によるコールドゲームは適用しません。** 試合は1時間25分を優先し同点の場合は制限時間の範囲内で9回までとし、以降は7項目(2)を適用します。

以上の規則の遵守、徹底を宜しくお願い申し上げます。